

Eastspring Asia Now

Vol.12 フィリピン現地レポート マニラ訪問記

eastspring
investments

マニラ首都圏は交通インフラ整備が課題

- ▶ 2017年6月初旬、アジアの中でも高成長を維持しているフィリピンのマニラ首都圏・マカティ市を訪問してきました。当日はあいにくの雨模様。マニラなどフィリピンの西海岸側は5～10月が雨季にあたります。雨は覚悟していましたが、現地に着いた途端に集中豪雨に見舞われました。非常に蒸し暑く、日本の梅雨に近い感覚でした。
- ▶ マニラの玄関口であるニノイ・アキノ国際空港に到着し、早速市内ホテルへ車で移動しました。マカティ市内のホテルまでおよそ8km。空港からは高速道路(メトロ・マニラ・スカイウェイ)もあるので、あっという間に着くかと思いきや、高速道路の出口付近から大渋滞が発生して、結局ホテルまで80分もかかってしまいました。
- ▶ 交通渋滞の原因は、明らかに交通量の多さと幹線道路に車が集中しやすい道路事情だと思われます。幹線道路からそれるとほぼ信号のない細い道路に迷い込んでしまい、市街地を通過するにはどうしても数少ない幹線道路を通らざるを得ないようです。渋滞緩和のため高速道路の拡張工事も進められており、その完成が期待されます。



市内でよく見かける乗合タクシー「ジプニー」。庶民の足がわりとなっています。個性的でカラフルなものが多く、車のカラーはバラエティに富んでいます。



ホテルから望むオフィスビル群。金融関連企業の入居する高層ビルが多く見られました。

- ▶ 翌日の早朝に市街地からニノイ・アキノ国際空港へ向かった際は、渋滞もなく非常にスムーズでした。高速道路も空いていて、前日80分かかった道のりが20分足らずで空港へ到着しました。
- ▶ 空港では、海外で働くフィリピン人(OFW*)専用入口がありました。OFWは海外で稼いだお金を家族へ送金しており、これが堅調な国内消費に貢献しています。出入国手続きも迅速に行われるなど特別待遇を受けているようです。



空港のOFW専用入口。OFWによる国内向け送金額は2016年に約269億米ドルと過去最高を達成。



高速道路の出口。ETCも稼働していました。

*OFWは、Overseas Filipino Workersの略称。
写真: イーストスプリング・インベストメンツ社員撮影

※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第379号/加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社は関係がありません。

英国ブルーデンシャルグループ

170721 (02)